

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

東北電子専門学校／宮城県

【授業開始】 4月6日に予定していた授業開始を
4月14日に延期

【期間】 4月14日～5月31日（状況により延期有）
1日平均3時間の授業を実施

【対象】 全学科（22学科） / 計1,630名

【方法】 Microsoft Teamsを利用した同時双方向型
遠隔授業。教員：学内 または自宅(PC)
学生：自宅 (PC / iPad /スマートフォン)

【内容】

- ・遠隔授業実施前に実験授業を行い、Teamsが対応できる人数、文字・画像の見やすさ、音声の聞き取りやすさ等を確認
- ・学生の出欠は、会議への参加者リストの確認と、全員に同一問題を提示し、Teamsの会議チャットに解答を投稿させて記録
- ・事前に授業のテーマを提示し、当日までにテキストを読むことを指示
- ・学生に対する演習の指示や課題への取組み方の説明等は、PowerPoint等で資料を作成し、Teamsの共有機能を使用



【内容】（続き）

- ・欠席者には、PowerPointの資料を本校ポータルサイトで公開、質問がある場合は個別対応を実施
- ・提出物の回収は、Class Notebookを使用し、学生の個人フォルダに提出させて確認
- ・実習科目については、デモ（実習操作）の部分抜き出し、PCから遠隔操作で教示
- ・Teamsの会議中に、学生の反応を確認する場合は、Formsでアンケートや質問を作成し投票させる